

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月27日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	弘前市	代表者名	櫻田 宏
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0172-40-0631
担当者役職	総括主査	担当者氏名	廣田洋平
住所	036-8551 青森県弘前市上白銀町1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	市の係長級職員を中心に、国のデジタル庁創設の動向や他自治体の取組紹介、デジタル技術を活用した市民の利便性向上の具体的な取組事例など、各業務に係るデジタル技術の活用について助言をいただくことができ、職員の意識改革につなげることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月26日	13時00分	16時00分	10	170
3-2. 派遣場所	会場名	弘前市民会館大会議室		最寄駅	—
	所在地	青森県弘前市下白銀町1-6		最寄駅からの交通手段	—
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市役所職員	28人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	デジタル技術を活用した市民サービスの向上や、行政事務の効率化等に向けて、業務を行う最小単位「係」において管理的な立場にある係長級職員の意識改革が必要。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタル技術を活用した市民サービスの向上や、行政事務の効率化等に向けて、各業務において積極的にデジタル技術の活用を検討していく機運の醸成を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	国のデジタル庁創設の動向や他自治体の取組紹介、デジタル技術を活用した市民の利便性向上の具体的な取組事例など	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演後のアンケートでは、自治体のデジタル改革への理解度が「よく理解できた」「概ね理解できた」を合わせて100%となっており、デジタル改革の推進に向けた職員の理解が図られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

